

Heartful Day

北条高校人権委員会
令和6年11月13日
No. 174

－視覚障がい者の人権を考える－ 松山盲学校オープンスクール体験報告

8月6日(火)人権委員2年生が松山盲学校のオープンスクールに参加しました。今回はその参加報告とともに、視覚障がい者の人権について考えていきます。

松山盲学校オープンスクール体験報告

1 愛媛県立松山盲学校紹介

最初松山盲学校の紹介をしていただきました。

『松山盲学校は、県内唯一の視覚に障がいのある幼児児童生徒・一般の方のための教育機関です。全く目が見えない人や見えにくさのある人が、幼児から成人まで在籍し、学習しています。また、県下の幼稚園・保育園、小中高等学校や一般の方からの学習や生活上での見えにくさに関する相談や支援を行っています。』(松山盲学校のホームページより)

オープンスクール当日は夏休み中で、生徒は帰省中で校内にはいませんでした。



会場一番乗の北条高校生

2 「ガイドヘルプ」体験学習

午前中は「ガイドヘルプ」の体験プログラムに参加しました。



説明をされる松山盲学校の先生方



アイマスクをつけて階段を降りる体験

まず、松山盲学校の先生方から説明を受けました。

視覚障がい者を驚かささないように、正面から、「何かお手伝いすることはありますか？」と聞き「よろしければ、ガイドヘルプをお願いします。」と応答があれば、「はい、分かりました。それでは私の肘につかまってください」とガイドヘルプを始めます。



イラストのように『視覚障がい者の利き腕が自由になるよう、(右利きの場合) 視覚障がい者が右側になるのが望ましい。ただし状況によっては、ガイドが車道側や、溝のある側を歩くのがよい』等の説明を受けました。

そして、実際に2人1組で、アイマスクを付けた視覚障がい者の役と、ガイドヘルパーの役に分かれ、校内を歩く体験をしました。

実際にアイマスクをつけて歩いてみると、ちょっとした凹凸や、通路に置かれた障害物がとても怖く感じました。ぜひみなさんも、困っている視覚障がいの人がいいたら、勇気を持って「ガイドヘルプ」を試してみませんか。

3 「視覚障がい者スポーツ」体験学習

午後は、「視覚障がい者スポーツ」の体験プログラムに参加しました。



卓球(サウンドテーブルテニス)



ゴールボール

最初に視覚障がい者の卓球、「サウンドテーブルテニス」を体験しました。音の出るピンポン球を使用します。通常の卓球と大きく違うところは、ピン球をネットの下をくぐらせることです。力を入れすぎると、ピン球が弾んでネットにあたってしまいました。最初はアイマスクなしで、なれてくると、アイマスクをつけて体験しました。

次に「ゴールボール」の体験です。鈴の入ったボール(バレーボール程度の大きさ)を転がすように投げ合います。攻撃側は、相手側のゴールポストに球を入れると得点になります。守備側は、写真のように、体を横にして、ボールがゴールに入るのを防ぎます。アイマスクをすると、方向が分からなくなり、とても難しかったです。

4 「視覚障がい者用品」の見学



拡大読書器



点字盤(点字を打つ器具)



点字タイプライター



視覚障がい者用オセロ・トランプ

昼休みには、「視覚障がい者用品」を見学しました。いろいろな工夫がなされていました。



オープンスクールに参加して



体験プログラムに参加して、視覚障がいについて知ることができました。「ガイドヘルプ」「障がい者スポーツ」以外にも、「点字」「視覚障がい者用のパソコン使用」のプログラムがあるので、機会があれば体験してみたいです。

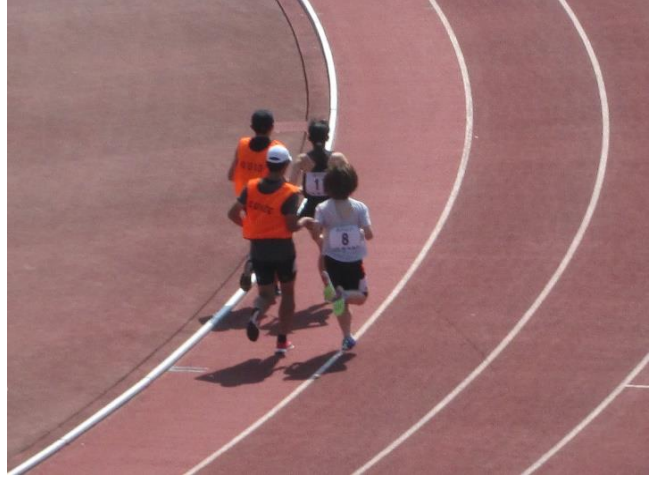
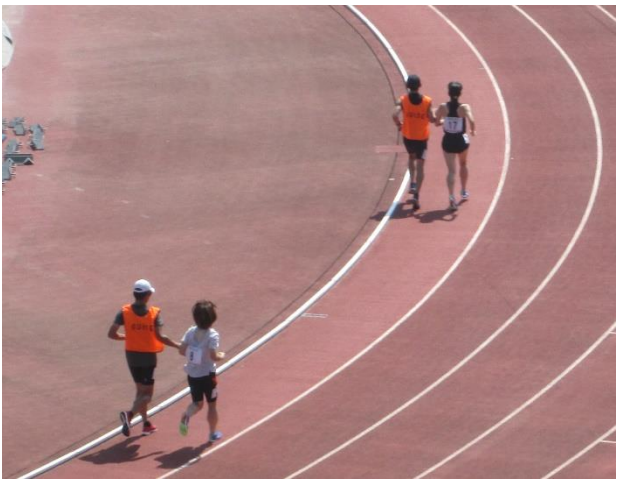
「知る」ことから「考え・行動する」ことが大切だと思いました。困っている視覚障がい者へのガイドヘルプができる人になりたいです。また、積極的に、障がい者スポーツに参加してみようと思いました。



中四国パラ陸上



9月8日(日)に愛媛県総合運動公園で開催された、中四国パラ陸上での視覚障がい者部門の写真です。ピブスを付けたガイドランナーとともに競技しています。



音響式信号機



「カッコー」「ピヨ」という音で歩行者信号が青であることを知らせています。

「カッコー」が東西、「ピヨ」が南北の信号に対応しています。夜間や早朝は、地域住民への配慮から、音が出ないことがあります。

かつては「通りゃんせ」などメロディー式の信号機もありましたが、現在ほぼ「カッコー」「ピヨ」に統一されているようです。受験や修学旅行などで都会に行き、方向に迷ったら、音響式信号機で確認するのもよいかも分かりませんね。

担当 2年次 人権委員